

平成23年8月4日

参議院議員
増子 輝彦 先生

浪江町安否担当
浪江町議会議員
渡邊 文星

行方不明者捜索のための請戸港付近の放射能調査結果について

日ごろより当町災害救援事業において多大なご支援ありがとうございます。

さて、題記につきまして、浪江地区の海岸（南棚塩・請戸・中浜・両竹地区）に押し寄せた津波により184名の住民の方々が行方不明になり、8月3日現在151名が遺体として収容され、33名が依然行方不明者となっております。陸上を主体に3ヶ月以上捜索が行われていますが、行方不明者は、海上へ流された可能性が大きく、今後は海上捜索が必要となります。

そこで、海上捜索を行うためには、捜索関係者への危険があるのかどうかを調べる必要があるため、請戸港付近の海水中放射能調査を7月28日に東京電力にお願いしました。調査結果は、添付の資料通り潜水作業を実施した場合、作業員への安全は確保できるとの評価をいただきました。

従いまして、この資料を基に、再度、海上保安庁および海上自衛隊へ捜索活動を町行政とともに要望いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

記

請戸港海水中放射能調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部（全7ページ）

請戸港において潜水作業を実施する際の被ばく線量の評価・・1部（全5ページ）
（添付資料）

尚、現地、福島海上保安部(小名浜)へは同上資料はFAX済みです。

以上